

公益法人 地盤工学会・関東支部
無機系吸水性材料を用いた土の改質技術の利活用に関する研究委員会

2023年度第4回（通算第15回）議事録

日時	2024年3月26日（火）14:00～17:00					場所	地盤工学会地下会議室+Zoom会議				
委員長	早野 公敏	○	幹事	望月 美登志	○	委員	石原 雅規	×	委員	泉 明良	×
委員	遠藤 和人	○	委員	太田 敏則	○	委員	大森 慎哉	○	委員	片桐 雅明	○
委員	高橋 英紀	○	委員	武井 俊哉	○	委員	田中 真弓	×	委員	藤原 斎郁	×
委員	水野 健太	○	委員	宮下 和紀	○	委員	莫 嘉麟	○	委員	森下 航希	×
委員	山内 裕元	○	委員	西川 美穂	○	委員	諸富鉄之助	△			

○：出席 △：部分的に出席 ×：欠席

【配布資料】

資料 23-4-1 2023年度第4回（通算第15回）議題書

資料 23-3-2 2023年度第3回（通算第14回）研究委員会議事録案

資料 23-4-3 PS系改質材編_手引き案_240326

資料 23-4-4 小型モールドと土壤硬度計を利用したコーン指數推定方法の適用性検討

資料 23-4-5 ハーデン工事事例写真集(3.10)

資料 23-4-6 バイオマス系改質材_手引き案_20240326

資料 23-4-7 無機系_再生石膏 20240326

資料 23-4-8 手引き共通編_2024_03_26

【議事】

審議事項

- 議題書の説明と 2023年度第3回（通算第14回）研究委員会議事録案の確認
- 手引き案の執筆状況について

PS系改質材編_手引き案の現状説明が行われた。

小型モールドと土壤硬度計を利用したコーン指數 qc 推定方法の適用性検討として、土の粒度が大きいケースや量の多さが簡易法に適しているかを確認している。指標硬度が 2～27mm 程度の範囲で測定される結果に適用可能であることが確認できた。

土質の異なるさまざまな原土や改質土を対象として、小型モールド法によるコーン指數への適用性について確認する予定としている（土の粒径の影響等を考慮）。

バイオマス系 G の手引き状況についても現状仕上がりっている部分についての説明がなされた。

廃石膏 G では、多くのハーデン工事事例について写真を用いて紹介していただきました。

また廃石膏 G では、再生石膏の適用例の説明があったが、エコカル等の農業利用の記載については、検討中とのことであった。また、品質管理に係る詳細については「再生石膏粉の有効ガイドライン（第一版）」（令和元年、国立環境研究所）に詳述されており、環境安全性については、本手引きにおいても準用することとした。

3. シンポジウム開催(2024年12月6日(金))に向けた検討
4. 成果普及委員会への移行について
5. その他 基礎工特集「高含水比発生土の活用技術」での記載

6. 次回研究委員会の日程調整

7月30日(火) 午後2時～5時 場所：地盤工学会会議室

以上